

承認履歴管理&コメント プラグイン

v1.2.0

- 商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
- 個別の商標・著作物に関する注記については、サイボウズのWebサイトを参照してください。
<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>
- なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

目次

1 章 プラグインの概要	4
2 章 動作環境	6
3 章 プラグインの設定	7
3.1. プラグインの追加	7
3.1.1. STEP1：申請アプリを準備する	7
3.1.2. STEP2：承認履歴アプリを準備する	8
3.1.3. STEP3：プラグインをkintoneに読み込む	11
3.1.4. STEP4：プラグインを申請アプリに追加する	12
3.1.5. STEP5：プラグインの設定をする	14
3.1.6. STEP6：申請アプリのレコードに承認履歴を表示する	17
3.2. プラグインの設定項目	20
3.3. 承認履歴アプリで記録できる項目	22
3.4. プラグイン設定ファイルの書き出しと読み込み	28
4 章 プラグインの使いかた	31
5 章 制限事項	33

1 章 プラグインの概要

「承認履歴管理&コメントプラグイン」を利用すると、プロセス管理で設定しているアクションを実行するときに、コメントが入力できるようになります。

承認する ▼

ステータス: 申請中 ステータスの履歴

承認履歴

承認日時	承認者	選択されたア
2024-11-12 9:56	田中 愛美	申請する

タイトル 承認者

名刺発注

詳細

フェアに向けて部内メンバーの名刺を発注します。

承認コメント

このアクション実行には承認者のコメントは任意です。

承認時の組織選択

キャンセル 保存

また、入力されたコメントや実行されたアクションを、承認履歴として確認できます。

承認履歴					
承認日時	承認者	前のステータス	選択されたアクション	現在のステータス	コメント
2024-06-28 8:50	木村 修	申請中	承認する	承認	承認します。
2024-06-28 8:46	加藤 大輔	未処理	処理開始	申請中	フェアに向けて部内メンバーの名刺を発注します。よろしく願いいたします。

「承認履歴管理&コメントプラグイン」を利用するには、次の2つのアプリが必要です。

- プロセス管理が設定されているアプリ
このマニュアルでは、「申請アプリ」と表記します。
- 承認履歴を記録するアプリ
このマニュアルでは、「承認履歴アプリ」と表記します。

アクション実行時に表示されるダイアログからコメントを入力することで、承認履歴アプリに承認や却下の理由を記録できるようになります。

承認履歴アプリでは、承認者、承認者の組織と役職、アクション、アクションの実行日、ステータス、コメントなどをまとめて表示できます。

 補足

承認者が複数の組織に所属している場合、初期値では優先する組織や、優先する組織の役職が記録されます。

承認者が承認コメントダイアログで組織を選択した場合は、選択した組織や選択した組織の役職が記録されます。

2 章 動作環境

Webブラウザの動作環境はkintoneの動作環境に準じます。

詳細は、次のページを確認してください。

[動作環境](#)

本機能はkintoneワイドコースをご契約いただいているお客様のみ利用可能です。ワイドコース以外では正常に動作しません。

3 章 プラグインの設定

「承認履歴管理&コメントプラグイン」を使い始めるために必要な設定について説明します。

プラグインの追加は、次の手順で行います。

[STEP1：申請アプリを準備する\(7ページ\)](#)

[STEP2：承認履歴アプリを準備する\(8ページ\)](#)

[STEP3：プラグインをkintoneに読み込む\(11ページ\)](#)

[STEP4：プラグインを申請アプリに追加する\(12ページ\)](#)

[STEP5：プラグインの項目を設定する\(14ページ\)](#)

[STEP6：申請アプリのレコードに承認履歴を表示する\(17ページ\)](#)

プラグインの設定項目の詳細は、次のページを参照してください。

[プラグインの設定項目\(20ページ\)](#)

3.1. プラグインの追加

プラグインを使うために、必要な設定について説明します。

3.1.1. STEP1：申請アプリを準備する

プラグインを使用する、申請アプリを準備します。

すでにプロセス管理を設定している申請アプリがある場合は、この操作は不要です。STEP2へ進んでください。

手順

1. アプリを作成します。アプリの作成方法は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。
[アプリを作成する](#)
2. プロセス管理を有効にして、設定します。プロセス管理の設定方法は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。
[プロセス管理の基本的な使いかた](#)

3.1.2. STEP2：承認履歴アプリを準備する

承認履歴アプリを準備します。

(1) アプリを作成する

アプリを作成します。アプリの作成方法は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。
[アプリを作成する](#)

(2) 必要なフィールドを配置する

承認履歴を記録するために必要なフィールドを配置します。

次の4つの必須項目を記録するフィールドは、必ず配置してください。

- 申請アプリID（数値フィールド）
- 申請レコードID（数値フィールド）
- 承認者のコメント（文字列（複数行）フィールド）
- 選択されたアクション（文字列（1行）フィールド）

承認者や承認日時を記録するため、併せて下記フィールドを配置することを推奨します。

- 承認者（作成者フィールド）

- ・承認日時（作成日時フィールド）

また、任意で次の項目を記録するフィールドを配置できます。

- ・前のステータス（文字列（1行）フィールド）
- ・現在のステータス（文字列（1行）フィールド）
- ・承認者の役職（文字列（1行）フィールド）
- ・承認者の組織（組織選択フィールド）
- ・承認者の組織名（文字列（1行）フィールド）
- ・申請者（ユーザー選択フィールド）
- ・関係するユーザー（ユーザー選択フィールド）
- ・関係する組織（組織選択フィールド）
- ・関係する組織（下位組織も含める）（組織選択フィールド）
- ・関係するグループ（グループ選択フィールド）

各項目に関する詳細は、次のページを参照してください。

[承認履歴アプリで記録できる項目\(22ページ\)](#)

補足

次のフィールドは、履歴を記録するフィールドとしてサポートしていません。

- ・ルックアップフィールドの設定で「コピー元のフィールド」に設定されているフィールド
- ・ルックアップフィールドの設定で「ほかのフィールドのコピー」に設定されているフィールド
- ・テーブル内のフィールド

フィールドの配置手順の詳細は、次のとおりです。

手順

1. [\(1\) アプリを作成する](#)で作成したアプリを開きます。
2. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックし、[フォーム]タブを選択します。



3. フォームに必要なフィールドを4つ配置します。まず、申請アプリIDを表示したい場所に数値フィールドを追加します。
4. 配置した数値フィールド右上の歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。
5. フィールド名に「アプリID」と入力します。
6. [保存]をクリックします。
7. 申請レコードIDを表示したい場所に数値フィールドを追加します。
8. 配置した数値フィールド右上の歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。
9. フィールド名に「レコードID」と入力します。
10. [保存]をクリックします。
11. 承認者のコメントを表示したい場所に文字列（複数行）フィールドを追加します。
12. 配置した文字列（複数行）フィールド右上の歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。
13. フィールド名に「コメント」と入力します。
14. [保存]をクリックします。
15. 選択されたアクションを表示したい場所に文字列（1行）フィールドを追加します。
16. 配置した文字列（1行）フィールド右上の歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。
17. フィールド名に「選択されたアクション」と入力します。
18. [保存]をクリックします。
19. 承認者を表示したい場所に作成者フィールドを追加します。
20. 配置した作成者フィールド右上の歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。
21. フィールド名に「承認者」と入力します。
22. [保存]をクリックします。
23. 承認日時を表示したい場所に作成日時フィールドを追加します。
24. 配置した作成日時フィールド右上の歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。
25. フィールド名に「承認日時」と入力します。
26. [保存]をクリックします。

27. 必要に応じて、ほかのフィールドを追加します。
詳細は、次のページを参照してください。
[承認履歴アプリに配置できる項目一覧\(22ページ\)](#)
28. [フォームを保存]をクリックします。
29. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
30. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。

これで承認履歴アプリの準備ができました。

3.1.3. STEP3：プラグインをkintoneに読み込む

プラグインをkintoneに読み込みます。読み込みには、kintoneシステム管理権限が必要です。

手順

1. kintoneの画面上部の歯車の形をした[設定]アイコンをクリックし、[kintoneシステム管理]を開きます。



2. 「その他」の[プラグイン]をクリックします。
3. 画面左上の[読み込む]をクリックします。

4. [参照]をクリックし、読み込むプラグインのファイルを選択します。

5. [読み込む]をクリックします。

「プラグイン」画面の「読み込んだプラグイン」に「承認履歴管理&コメントプラグイン」が表示されていれば、読み込みは完了です。

読み込んだプラグインをアップデートするときは、新しいバージョンのプラグインのファイルをもう一度読み込んでください。

💡 ヒント

kintoneでは、プラグインごとに利用許可するアプリを設定できます。利用許可の設定をしたい場合は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。

[プラグインの利用許可を設定する](#)

3.1.4. STEP4：プラグインを申請アプリに追加する

プラグインを、申請アプリに追加します。

手順

1. 申請アプリを開きます。

2. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックします。



3. [設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[プラグイン]を選択します。

4. [追加する]をクリックします。

プラグイン [?ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。
 [追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用するプラグインを選択します。
 利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います（kintoneのシステム管理権限が必要です）。



拡張機能について知る
 拡張機能で、さらに広がるキントーンでできること
 拡張機能とは [プラグイン・関連サービスを探す](#)

+ 追加する

状態 ?	プラグイン名	設定	説明
プラグインは追加されていません。			

- 「承認履歴管理&コメントプラグイン」にチェックを入れ、画面右下の[追加]をクリックします。
- 画面上部に表示されるメッセージの[アプリの設定]をクリックするか、画面左下の[アプリの設定に戻る]をクリックします。

kinto アプリにプラグインが追加されました。
 変更を反映するには、[アプリの設定](#)に戻り、[アプリを更新]ボタンをクリックしてください。

ポータル > スペース: 営業 > アプリ: 物品購入申請 > [アプリの設定](#) > プラグイン

プラグイン [?ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。
 [追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用するプラグインを選択します。
 利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います（kintoneのシステム管理権限が必要です）。



拡張機能について知る
 拡張機能で、さらに広がるキントーンでできること
 拡張機能とは [プラグイン・関連サービスを探す](#)

+ 追加する

状態 ?	プラグイン名	設定	説明
有効 無効にする	 承認履歴管理 & コメントプラグイン		必須項目が設定されていません。 承認履歴管理 & コメントプラグインは承認履歴とステータス更新時のコメントを保持します。

[< アプリの設定に戻る](#)

- 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
- 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。
 プラグインの設定に進みます。

3.1.5. STEP5：プラグインの設定をする

プラグインで必要な設定手順を説明します。

各設定項目の詳細については、次のページを参照してください。

[プラグインの設定項目\(20ページ\)](#)

手順

1. 承認履歴アプリの「レコード一覧」画面を開いて、表示されるURLからアプリIDを確認します。
URLの末尾に表示されている数字が、アプリIDです。このIDは、手順6で使します。
https://（サブドメイン名）.cybozu.com/k/（アプリのID）
2. 申請アプリを開きます。
3. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックします。



4. [設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[プラグイン]を選択します。
5. 「承認履歴管理&コメントプラグイン」の右横にある歯車の形をした[プラグインの設定]アイコンをクリックします。
「プラグインの設定」画面が開きます。
6. 「承認履歴アプリID」に手順1で確認したアプリIDを入力します。
7. 「承認履歴アプリのフィールド設定」で、承認履歴として記録する項目と、承認履歴アプリのフィールドをひも付けます。ひも付けるフィールドを、ドロップダウンリストから選択してください。
次の項目は必須です。

- 申請アプリID
- 申請レコードID
- 承認者のコメント
- 選択されたアクション

承認履歴アプリのフィールド設定	
申請アプリID *	アプリID (アプ... ▼
申請レコードID *	レコードID (レ... ▼
承認者のコメント *	コメント (コメ... ▼
選択されたアクション *	選択されたアク... ▼

各項目に関する詳細は、次のページを参照してください。

[承認履歴アプリで記録できる項目\(22ページ\)](#)

8. 「申請アプリのフィールド設定」で、承認履歴の記録に利用する項目と、申請アプリのフィールドをひも付けます。ひも付けるフィールドを、ドロップダウンリストもしくは複数選択リストから選択してください。
選択したフィールドは、承認履歴アプリのレコードの閲覧権限設定に利用します。

申請アプリのフィールド設定

申請者

申請者 (作成者) ▼

追加の関係するユーザー ?

権限_ユーザー (権限_ユーザー)

更新者 (更新者)

申請者 (作成者)

申請者 (申請者)

役職1_ユーザー (役職1_ユーザー)

役職2_ユーザー (役職2_ユーザー)

役職3 ユーザー (役職3 ユーザー)

追加の関係する組織 ?

権限_組織 (権限_組織)

申請者_組織選択 (申請者_組織選択)

追加の関係する組織 ?
(下位組織も含める)

権限_組織 (権限_組織)

申請者_組織選択 (申請者_組織選択)

追加の関係するグループ ?

権限_グループ (権限_グループ)

役職1_グループ (役職1_グループ)

役職2_グループ (役職2_グループ)

役職3_グループ (役職3_グループ)

各項目に関する詳細は、次のページを参照してください。

[申請アプリのフィールド設定\(20ページ\)](#)

- 「コメントの入力条件設定」で、コメント入力ダイアログを表示したいアクションを指定します。

アクション名と、アクション実行前のステータスを組み合わせて指定します。

また、コメントの入力を必須にするかどうかを設定します。

コメントの入力条件設定 ?

アクション名	アクション実行前のステータス	コメントの入力
承認依頼 ▼	すべて ▼	任意 ▼
差し戻す ▼	すべて ▼	必須 ▼

+

-

- 画面右下の[保存]をクリックします。

11. 画面上部に表示されるメッセージの[アプリの設定]をクリックするか、画面左下の[アプリの設定に戻る]をクリックします。



12. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
13. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。
プラグインの設定がアプリに反映されます。

これで「承認履歴管理&コメントプラグイン」が利用できるようになりました。
プロセス管理で設定したアクションを実行すると、設定した項目が承認履歴アプリに新規レコードとして記録されます。

3.1.6. STEP6：申請アプリのレコードに承認履歴を表示する

申請アプリのレコードに承認履歴を表示するために、関連レコード一覧フィールドを配置します。

手順

1. 申請アプリを開きます。
2. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックし、[フォーム]タブを選択します。



3. 承認履歴を表示したい場所に関連レコード一覧フィールドを追加します。
4. 配置した関連レコード一覧フィールド右上の歯車の形をした設定アイコンから、[設定]をクリックします。
5. フィールド名に「承認履歴」と入力します。
6. 「参照するアプリ」で、承認アプリを選択します。
7. 「表示するレコードの条件」で、「[レコード番号]= (等しい) [レコードID]」になるように設定します。

表示するレコードの条件 *

レコード番号	▼	= (等しい)	レコードID	▼
--------	---	---------	--------	---

8. 複数の申請アプリで同じ承認履歴アプリを使用している場合は、「さらに絞り込む条件」で、[アプリID]が申請アプリIDと等しくなるように設定します。

さらに絞り込む条件

アプリID	▼	= (等しい)	▼		+
-------	---	---------	---	--	---

すべてクリア

9. 「表示するフィールド」を指定します。ここで選択したフィールドが、申請アプリのレコード上に表示されます。

関連レコード一覧の設定

フィールド名 *

関連レコード一覧

☐ フィールド名を表示しない

参照するアプリ *

承認履歴

表示するレコードの条件 *

レコード番号 = (等しい) レコードID

さらに絞り込む条件

アプリID = (等しい)

すべてクリア

表示するフィールド *

承認日時

承認者

前のステータス

選択されたアクション

現在のステータス

コメント

キャンセル

保存

10. [保存]をクリックします。

11. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。

12. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。
フォームの設定がアプリに反映されます。

これで申請アプリのレコードに、承認履歴が表示されるようになりました。

承認履歴					
承認日時	承認者	前のステータス	選択されたアクション	現在のステータス	コメント
 2024-06-28 8:50	 木村 修	申請中	承認する	承認	承認します。
 2024-06-28 8:46	 加藤 大輔	未処理	処理開始	申請中	フェアに向けて部内メンバーの名刺を発注します。 よろしくお願いいたします。

3.2. プラグインの設定項目

「プラグインの設定」画面の各項目について説明します。

承認履歴アプリID

承認履歴アプリのアプリIDを入力します。

アプリIDは、該当するアプリの「レコードの一覧」画面を開いて、表示されるURLから確認できます。

URLの末尾に表示されている数字が、アプリIDです。

https://（サブドメイン名）.cybozu.com/k/（アプリのID）

承認履歴アプリのフィールド設定

承認履歴として記録する項目と、承認履歴アプリのフィールドをひも付けます。

各項目に関する詳細は、次のページを参照してください。

[承認履歴アプリで記録できる項目\(22ページ\)](#)

申請アプリのフィールド設定

承認履歴の記録に利用する項目と、申請アプリのフィールドをひも付けます。

申請者

申請アプリのどのフィールドを、申請者として承認履歴アプリに残すかを選択します。

承認履歴アプリで申請者を記録する場合は、必ず設定してください。

追加の関係するユーザー

承認履歴アプリの「関係するユーザー」にさらに追加したいユーザー選択フィールドを設定します。複数選択が可能です。承認履歴アプリのレコードの閲覧権限設定に利用します。

追加の関係する組織

承認履歴アプリの「関係する組織」にさらに追加したい組織選択フィールドを設定します。複数選択が可能です。承認履歴アプリのレコードの閲覧権限設定に利用します。

追加の関係する組織（下位組織も含める）

承認履歴アプリの「関係する組織（下位組織も含める）」にさらに追加したい組織選択フィールドを設定します。複数選択が可能です。承認履歴アプリのレコードの閲覧権限設定に利用します。

追加の関係するグループ

承認履歴アプリの「関係するグループ」にさらに追加したいグループ選択フィールドを設定します。複数選択が可能です。承認履歴アプリのレコードの閲覧権限設定に利用します。

コメントの入力条件設定

「アクション名」と「アクション実行前のステータス」を組み合わせで指定します。この設定で指定したアクションを実行したときのみ、コメントを入力するダイアログが表示されます。また、コメントの入力を必須にするかどうかを指定します。

 アイコンをクリックすると、指定する「アクション名」と「アクション実行前のステータス」を増やすことができます。

3.3. 承認履歴アプリで記録できる項目

ここでは、承認履歴アプリで記録できる項目と、配置するフィールドタイプについて説明します。

申請アプリID

申請アプリIDを記録できます。

申請アプリIDを記録するには、数値フィールドを配置します。このフィールドは必須です。

補足

申請アプリのレコードに承認履歴を表示する場合に使用します。詳細は次のページを参照してください。

[申請アプリのレコードに承認履歴を表示する\(17ページ\)](#)

申請レコードID

申請レコードIDを記録できます。

申請レコードIDを記録するには、数値フィールドを配置します。このフィールドは必須です。

補足

申請アプリのレコードに承認履歴を表示する場合に使用します。詳細は次のページを参照してください。

[申請アプリのレコードに承認履歴を表示する\(17ページ\)](#)

承認者のコメント

承認者のコメントを記録できます。

承認者のコメントを記録するには、文字列（複数行）フィールドを配置します。このフィールドは必須です。

選択されたアクション

選択されたアクションを記録できます。

選択されたアクションを記録するには、文字列（1行）フィールドを配置します。このフィールドは必須です。

承認者

承認者を記録できます。

承認者を記録するには、作成者フィールドを配置します。

承認日時

承認日時を記録できます。

承認日時を記録するには、作成日時フィールドを配置します。

前のステータス

アクション実行前のステータスを記録できます。

アクション実行前のステータスを記録するには、文字列（1行）フィールドを配置します。

現在のステータス

アクション実行後のステータスを記録できます。

アクション実行後のステータスを記録するには、文字列（1行）フィールドを配置します。

承認者の役職

承認者の役職を記録できます。

承認者の役職を記録するには、文字列（1行）フィールドを配置します。

承認者が複数の組織に所属している場合、優先する組織の役職が記録されます。ただし、承認者が承認コメントダイアログで組織を選択した場合は、選択した組織の役職が記録されます。

承認者の組織

承認者の組織を記録できます。

承認者の組織を記録するには、組織選択フィールドを配置します。

承認者が複数の組織に所属している場合、優先する組織が記録されます。ただし、承認者が承認コメントダイアログで組織を選択した場合は、選択した組織が記録されます。

承認者の組織名

承認者の組織名を記録できます。

承認者の組織名を記録するには、文字列（1行）フィールドを配置します。

このフィールドを使うと、承認後に組織名が変更された場合でも、承認当時の組織名を確認できます。

申請者

申請者を記録できます。

申請者を記録するには、ユーザー選択フィールドを配置します。

このフィールドを使うと、承認履歴アプリのレコードに対して、「申請者」に閲覧権限を設定できます。

レコードのアクセス権の設定手順の詳細は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。

[レコードにアクセス権を設定する](#)

補足

申請者を記録する場合は、「プラグインの設定」画面の「申請アプリのフィールド設定」で、申請者のフィールドを選択する必要があります。

関係するユーザー

関係するユーザーとして、次のユーザーを記録できます。

- ・プロセス管理で作業者に設定されているユーザー

- ・プラグインの設定項目「申請アプリのフィールド設定」の「追加の関係するユーザー」で指定されたフィールドのユーザー

関係するユーザーを記録するには、ユーザー選択フィールドを配置します。

このフィールドを使うと、承認履歴アプリのレコードに対して、「関係するユーザー」に閲覧権限を設定できます。

レコードのアクセス権 [?ヘルプ](#) [便利に使えるガイドブック vol.08 アクセス権編](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

[追加する](#)

レコードの条件 [?](#)

すべてのレコード [+](#)

ユーザー/組織/グループとアクセス権 [?](#)

ユーザーを追加 [Q](#) [または](#) [フォームのフィールドを追加](#) [v](#)

ユーザー/組織/グループ	許可する操作
関連ユーザー	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除
Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除

レコードのアクセス権の設定手順の詳細は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。

[レコードにアクセス権を設定する](#)

関係する組織

関係する組織として、次の組織を記録できます。

- ・プロセス管理で作業者に設定されている組織
- ・プラグインの設定項目「申請アプリのフィールド設定」の「追加の関係する組織」で指定されたフィールドの組織

記録の対象は、「下位組織も含める」にチェックがない組織です。

関係する組織を記録するには、組織選択フィールドを配置します。

このフィールドを使うと、承認履歴アプリのレコードに対して、「関係する組織」に閲覧権限を設定できます。

レコードのアクセス権を設定する際には、「関係する組織」フィールドの「許可する操作」で「アクセス権を継承する」のチェックを外します。

レコードのアクセス権 [ヘルプ](#) | [便利に使うガイドブック vol.08 アクセス権](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

[追加する](#)

レコードの条件 ②

すべてのレコード

ユーザー/組織/グループとアクセス権 ②

ユーザーを追加 または [フォームのフィールドを追加](#)

ユーザー/組織/グループ	許可する操作
関係する組織	☒ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除 ☐ アクセス権の継承
Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除

レコードのアクセス権の設定手順の詳細は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。

[レコードにアクセス権を設定する](#)

補足

申請アプリのプラグインで、「関係する組織」または「関係する組織（下位組織も含める）」のどちらか一方にだけ承認履歴アプリのフィールドが設定されている場合、承認履歴アプリの設定されたフィールドに、すべての組織が記録されます。プロセス管理での「下位組織も含める」のチェックの有無は関係しません。

関係する組織（下位組織も含める）

関係する組織として、次の組織を記録できます。

- ・プロセス管理で作業者に設定されている組織
- ・プラグインの設定項目「申請アプリのフィールド設定」の「追加の関係する組織（下位組織も含める）」で指定されたフィールドの組織

記録の対象は、「下位組織も含める」にチェックがある組織です。

関係する組織（下位組織も含める）を記録するには、組織選択フィールドを配置します。

このフィールドを使うと、承認履歴アプリのレコードに対して、「関係する組織（下位組織も含める）」に閲覧権限を設定できます。

レコードのアクセス権を設定する際には、「関係する組織（下位組織も含める）」フィールドの「許可する操作」で「アクセス権を継承する」にチェックを入れます。

レコードのアクセス権 [ヘルプ](#) [便利に使うガイドブック vol.08 アクセス権](#)

レコードごとに、そのレコードを閲覧・編集・削除できるユーザーを制限できます。

[追加する](#)

レコードの条件 [?](#)

すべてのレコード [+](#)

ユーザー/組織/グループとアクセス権 [?](#)

ユーザーを追加 [Q](#) [+](#) または [+](#) フォームのフィールドを追加 [v](#)

ユーザー/組織/グループ	許可する操作
+ 関係する組織（下位組織も含める）	☒ 閲覧 ☒ 編集 ☒ 削除 ☒ アクセス権の継承
+ Everyone	☐ 閲覧 ☐ 編集 ☐ 削除

レコードのアクセス権の設定手順の詳細は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。

[レコードにアクセス権を設定する](#)

補足

申請アプリのプラグインで、「関係する組織」または「関係する組織（下位組織も含める）」のどちらか一方にだけ承認履歴アプリのフィールドが設定されている場合、承認履歴アプリの設定されたフィールドに、すべての組織が記録されます。プロセス管理での「下位組織も含める」のチェックの有無は関係しません。

関係するグループ

関係するグループとして、次のグループを記録できます。

- プロセス管理で作業者に設定されているグループ
- プラグインの設定項目「申請アプリのフィールド設定」の「追加の関係するグループ」で指定されたフィールドのグループ

関係するグループを記録するには、グループ選択フィールドを配置します。

このフィールドを使うと、承認履歴アプリのレコードに対して、「関係するグループ」に閲覧権限を設定できます。

レコードのアクセス権の設定手順の詳細は、kintoneヘルプの次のページを参照してください。

[レコードにアクセス権を設定する](#)

3.4. プラグイン設定ファイルの書き出しと読み込み

プラグインの設定をJSON形式のファイルに書き出すことができます。また、書き出したJSON形式のファイルを読み込むこともできます。

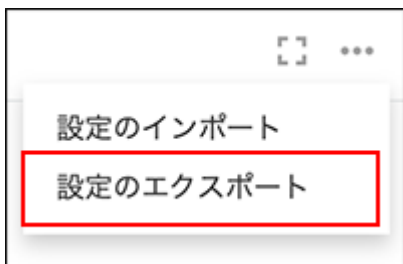
ファイルを書き出して、プラグインの設定のバックアップとして利用できます。

プラグインの設定を書き出す

1. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックします。



2. [設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[プラグイン]を選択します。
3. 「承認履歴管理&コメントプラグイン」の右横にある歯車の形をした[プラグインの設定]アイコンをクリックします。
4. 画面右上の[オプション]アイコンをクリックし、[設定のエクスポート]をクリックします。



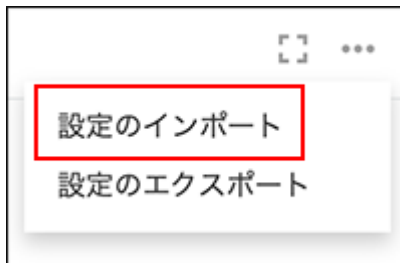
プラグインの設定ファイルが書き出されます。

プラグインの設定を読み込む

1. 「レコードの一覧」画面の右上にある歯車の形をしたアプリ設定アイコンをクリックします。



2. [設定]タブの「カスタマイズ／サービス連携」にある[プラグイン]を選択します。
3. 「承認履歴管理&コメントプラグイン」の右横にある歯車の形をした[プラグインの設定]アイコンをクリックします。
4. 画面右上の[オプション]アイコンをクリックし、[設定のインポート]をクリックします。



5. [参照]をクリックし、読み込みたいファイルを選択します。
6. [インポート]をクリックします。
7. [保存]をクリックします。
8. 画面上部に表示されるメッセージの[アプリの設定]をクリックするか、画面左下の[アプリの設定に戻る]をクリックします。



9. 画面右上の[アプリを更新]をクリックします。
10. 確認ダイアログで[アプリを更新]をクリックします。

読み込んだ設定がアプリに反映されます。

4 章 プラグインの使いかた

「承認履歴管理&コメントプラグイン」の使いかたを説明します。

コメントの入力

コメント入力が必要または任意に設定されているアクションを実行すると、承認コメントダイアログが表示されます。



承認コメント

このアクション実行には承認者のコメントは任意です。

承認時の組織選択

海外営業部 ▼

キャンセル 保存

コメントを入力して[保存]をクリックすると、入力したコメントと、「プラグインの設定」画面で設定した項目が承認履歴アプリに記録されます。

承認者が複数の組織に所属している場合は、「承認時の組織選択」で、どの組織の承認者として承認するかを選択できます。初期値では、承認者の優先する組織が選択されています。

また、コメントの入力が任意に設定されている場合は、コメントを入力せずに[保存]をクリックできます。

[キャンセル]をクリックすると、ダイアログが閉じます。アクションは実行されません。

承認履歴の確認

承認履歴アプリで、承認履歴を確認できます。

「承認履歴管理&コメントプラグイン」を設定しているアプリでアクションが実行されると、承認履歴アプリに新しいレコードが自動で追加されます。



承認履歴アプリのレコード詳細画面のスクリーンショット。画面の上部には「スペース: 営業」>「アプリ: 承認履歴」>「一覧: (すべて)」>「レコード: 10」のパンくずリストがあります。右側には検索アイコンとメニューアイコンがあります。左側のカードには「作成日時」(2024-06-07 16:57)、「申請者」(加藤 大輔)、「コメント」(フェア用の名刺の発注です。確認をお願いします。)、および「承認者」「承認者の役職」「承認者の組織」のラベルがあります。右側のカードには「コメントする」ボタンと「コメントはありません。」のメッセージがあります。

特定の申請の承認履歴を確認する場合は、承認履歴アプリの「レコードの一覧」画面で、「アプリID」と「レコードID」を使って絞り込みます。

また、申請アプリに関連レコード一覧フィールドを配置すると、申請アプリのレコード上でも承認履歴を確認できます。

承認履歴

承認日時	承認者	前のステータス	選択されたアクション	現在のステータス	コメント
 2024-06-28 8:50	 木村 修	申請中	承認する	承認	承認します。
 2024-06-28 8:46	 加藤 大輔	未処理	処理開始	申請中	フェアに向けて部内メンバーの名刺を発注します。 よろしく願いいたします。

！ 注意

承認履歴アプリがメンテナンス中の場合、承認履歴を確認できません。また、申請アプリでプロセスを進めることができません。

メンテナンスモードについての詳細は、次のページを参照してください。

[アプリのメンテナンスモードを開始／終了する](#)

5 章 制限事項

「承認履歴管理&コメントプラグイン」の制限事項は次のとおりです。

- サポートしている言語は日本語のみです。
- 組織間のアクセスを禁止しているドメインでの利用は動作保証外です。
- ゲストスペース内アプリでの利用は動作保証外です。
- 申請アプリでアクションを実行するたびに、「プラグインの設定」画面で設定した情報が、承認履歴アプリのレコードに記録されます。
承認履歴アプリのレコードやフィールドに権限設定が必要な場合は、承認履歴アプリ側でアクセス権を設定する必要があります。アクセス権の設定には、承認履歴アプリに転記された申請者や承認者、関係するユーザー/組織/グループの値を利用できます。
ただし、プラグインを設定しているアプリ側でレコード単位のアクセス権を設定している場合、承認履歴アプリ側のレコードのアクセス権限と、申請アプリ側のレコードのアクセス権を一致させる設定ができない場合があります。
- レコード数が多く、プロセス管理のアクションが多く実行されることが予想されるアプリにプラグインを設定する場合、そのアプリ専用の承認履歴アプリを用意することを推奨します。
- プロセス管理設定の「このアクションを実行する条件」に存在するユーザー/組織/グループがcybozu.com共通管理上から削除された場合、ステータスを変更するアクションを実行するとエラーが発生します。プロセス管理の設定で、削除されたユーザ/組織/グループの設定を削除してください。
- プラグインを設定したアプリのプロセス管理設定で、各ステータスの作業者が変更または削除された場合、その設定は承認履歴アプリにすでに登録されている承認履歴のレコードには反映されません。
承認履歴アプリ側で作業者ごとの履歴レコード情報に権限を付与していた場合、変更によっては過去の履歴が閲覧できなくなることがあります。アクセス権の設定を確認してください。

発行日:2025年7月8日
© Cybozu